

1. 方向(E6)の表示

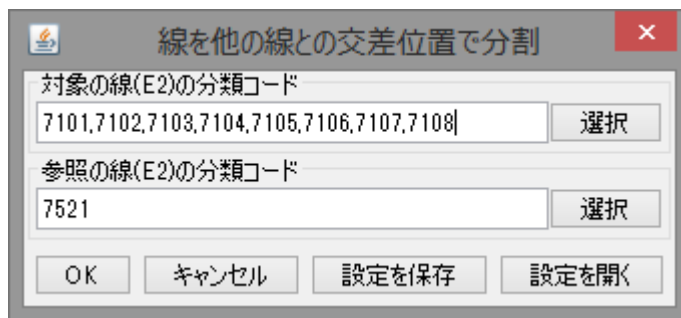
方向(E6)を選択した際に、方向を示す線を表示していますが、方向を示す線が複数あっても、1本しか表示しない問題を修正しました。

2. 線を他の線との交差位置で分割する

新メニュー[一括処理]-[線を他の線との交差位置で分割する]を追加しました。

線(E2)と面(E1)について、他の線(E2)面(E1)と交差する位置で、分割します。

等高線をブレイクラインと交差する位置で分割するために、この機能を作成しました。



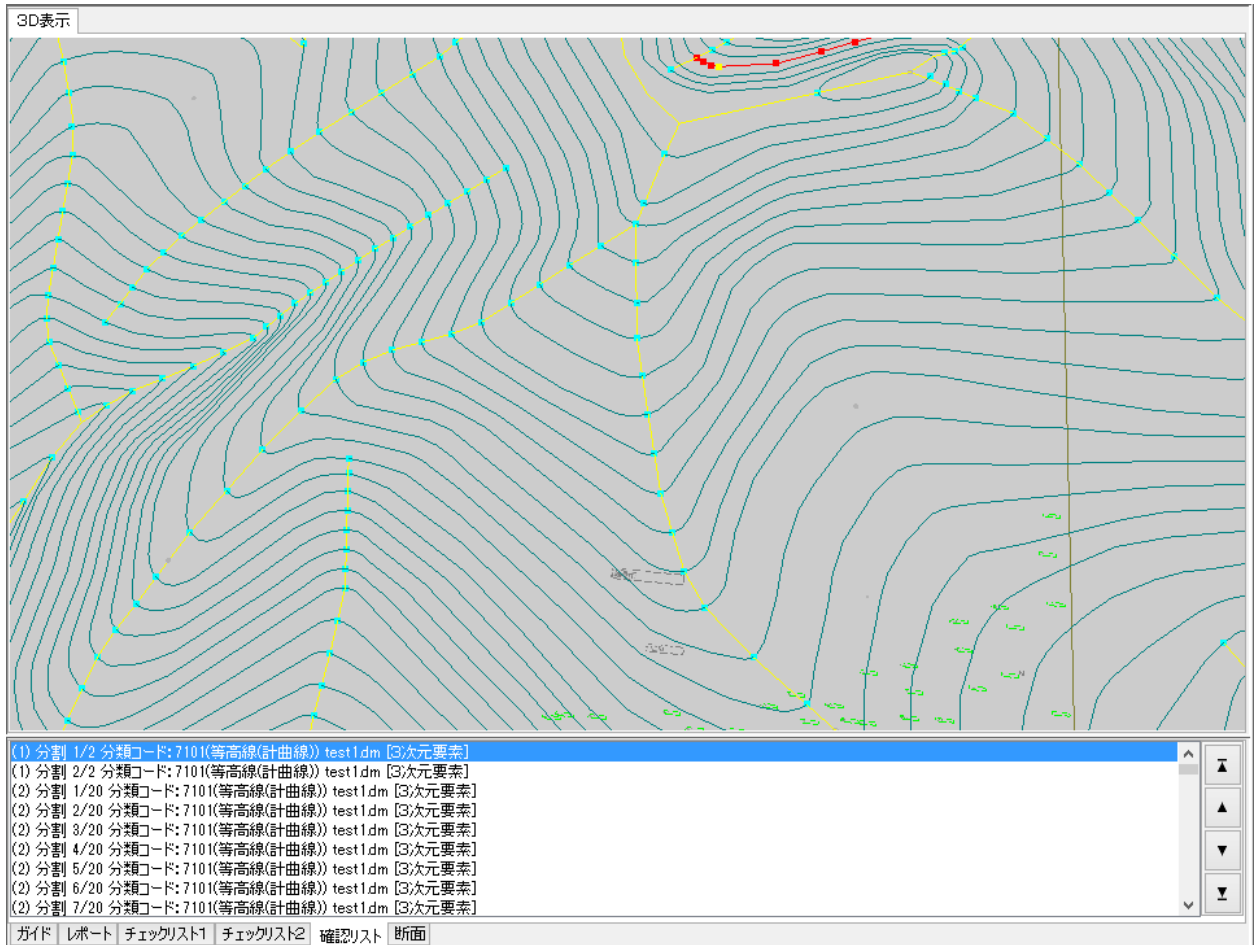
対象の線(E2)の分類コード

対象となる線(E2)と面(E1)の分類コードを指定します。4桁の分類コードをカンマで区切って指定します。「選択」ボタンで選択した分類コードがここにセットされます。

参照の線(E2)の分類コード

参照となる線(E2)と面(E1)の分類コードを指定します

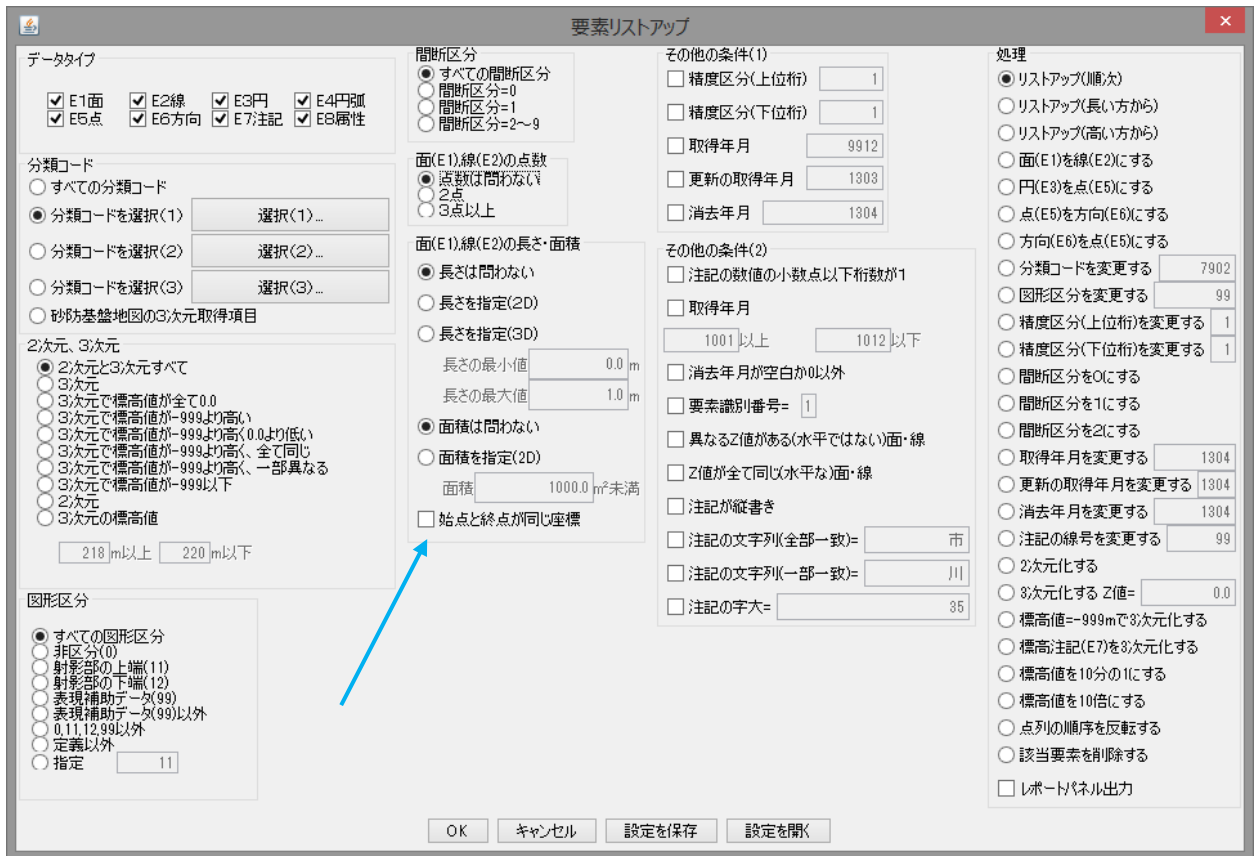
対象の線と面について、参照の線と面と交差する場合、交差位置で分割します。交差はXY平面で計算します。対象が面(E1)の場合、分割したポリラインは線(E2)になります。



確認リストには、分割した線をリストアップします。3D表示パネルには、確認リストの点が分割位置になるように表示しています。

3. 要素リストアップ

メニュー[ツール]-[要素リストアップ]に「始点と終点と同じ座標」を追加しました。



始点と終点が同じ座標

面(E1)と線(E2)について始点と終点が同じ座標でない場合、リストアップの対象外になります。

4. ダイアログでの「設定を保存」「設定を開く」



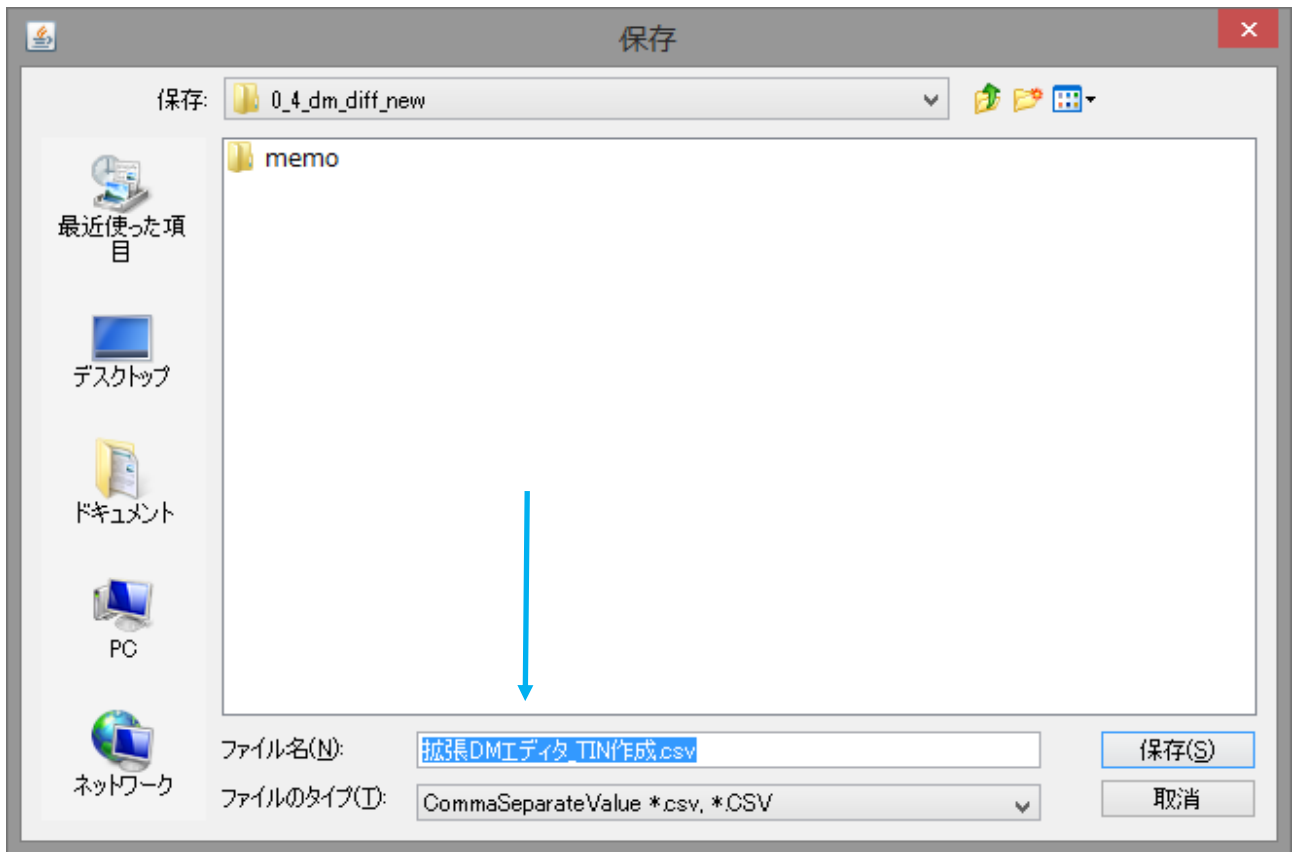
ダイアログのボタン「設定を保存」「設定を開く」で、デフォルトのファイル名を

メニュー名 + “.csv”

と、していましたが、

アプリケーション名 + “_” + メニュー名 + “.csv”

としました。



一括処理で設定を参照するために保存する場合、アプリケーション名とアンダーバーを除いて、メニュー名のみにして保存してください。